

八社参り③

八日市場を歩く

3回目となる「八社参り短
路コース」は、田町区にまつ
られる「天満宮」と「辯財天」
をお参りしました。

「八社参り」のパンフレット
に「合格祈願・学力向上」の
ご利益が書かれていているように、
天満宮は平安時代初期の菅原
道真をまつり、「学問の神」と
して信仰されています。

ここの天満宮は八日市場村
の3人が願主となり、184



田町池端、太鼓橋の先にまつられる「辯財天」

99（寛政11）年正
月に「田町氏子中」と
福善寺の末寺・正光
院によりまつられま
した。毎年7月1日
の浅間参りは現在も
続けられているよう
です。
辯財天は、田町池
端の、かつて用水に
使用されたとみられ
る池の太鼓橋を渡っ
た先にまつられてい
ます。水の守り神と
して信仰された名残
なのでしょ。

2（天保13）年5月に石祠（石
の宮）がまつられました。境
内の石灯笼や手水石も村人が
寄進し、1803（享和3）年
8月造立の大杉大明神の石祠
は「惣若者中」がまつりました。
大杉神社の本社は茨城県稲敷
市安波にあり、「あんば様」と
呼ばれ市内でも石祠がいくつ
かあります。

「八社」には含まれていませ
んが、浅間神社の石祠は17

これら「八社参り」には多く
のご利益があるそうです。
江戸時代の神社には、寺院
の本末寺帳のような統一的な
記録はありませんでした。

明治になり、1879（明
治12）年に神社の祭神由緒
社殿、境内、氏子数などに
ついて県に提出された「千葉
県神社明細帳」は、その後の
改正・訂正や削除などがあり、
神社の変遷をたどることがで
きるとされています。現在の
中央地区、当時の八日市場村
でこの明細帳に記載されるの
は、八重垣神社、東照宮、浅
間神社、八幡大神、猿田彦
大神の5社で、これが継承さ
れ、この5社が「千葉県宗教
法人名簿」に掲載されていま
す。明細帳に由緒があるのは、
八重垣神社と東照宮の2社の
みです。

市民の方から「仲町の八幡
大神としているが、神社管理
を仲町区と砂原区が共同で
行っている。説明が誤ってい
るのではないか」とのご指摘
をいただきましたので、同神
社の部分を訂正します。

（市文化財審議会委員・

依知川雅一）

関秘書課広報広聴班

☎73・00800